

大豆中のイソフラボンの測定

<測定条件>

カラム : J-Pak Symphonia C18
 (4.6 mm I.D. × 250 mmL, 5 μm)
 検出 : PDA-325 nm
 グラジエント溶出
 移動相A : アセトニトリル/水/酢酸 (15/85/0.1)
 移動相B : アセトニトリル/水/酢酸 (35/65/0.1)
 流量 : 1.0 mL/min
 カラム温度 : 35 °C
 測定試料 : 調製豆乳, 大豆, 黒大豆, きな粉,
 納豆

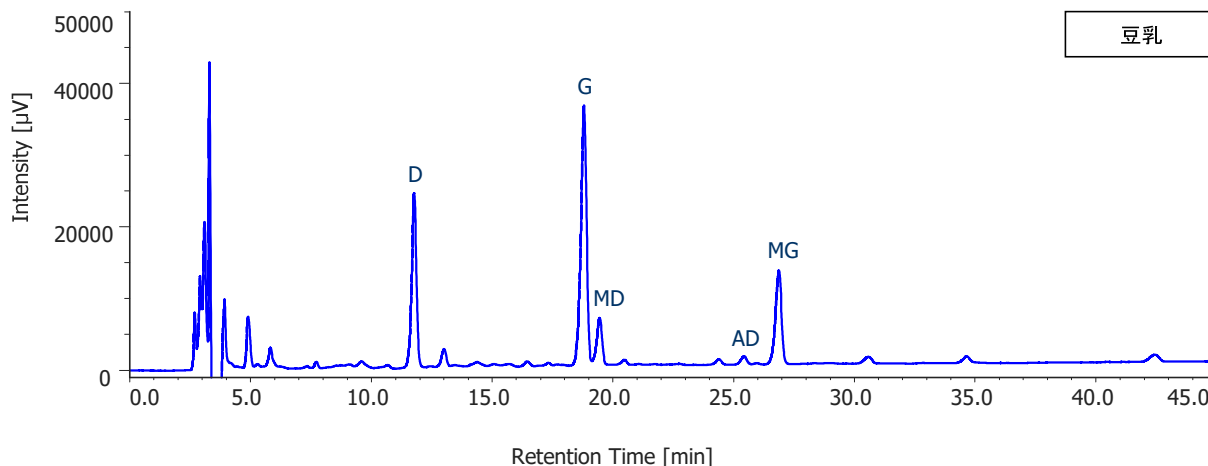
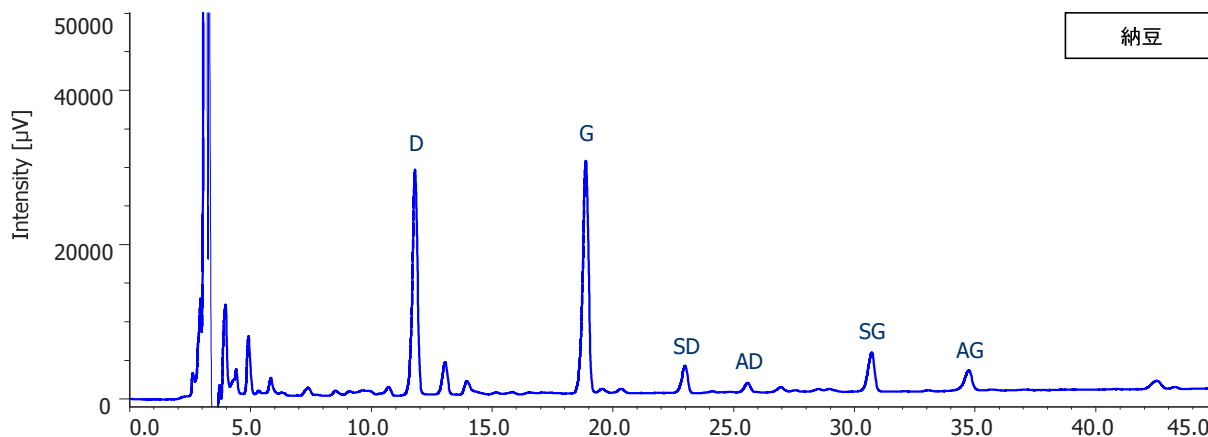
<グラジエント条件>

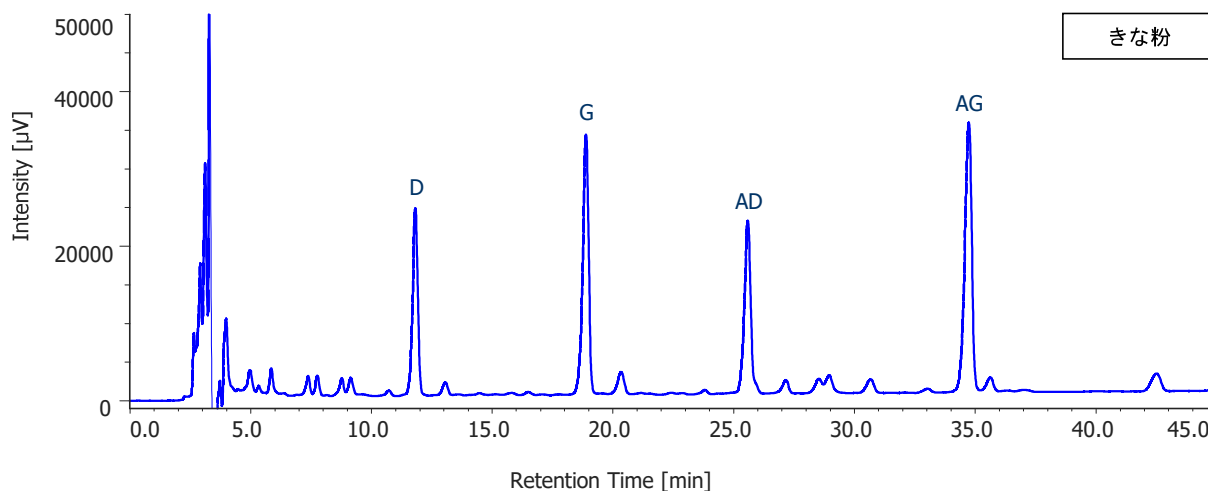
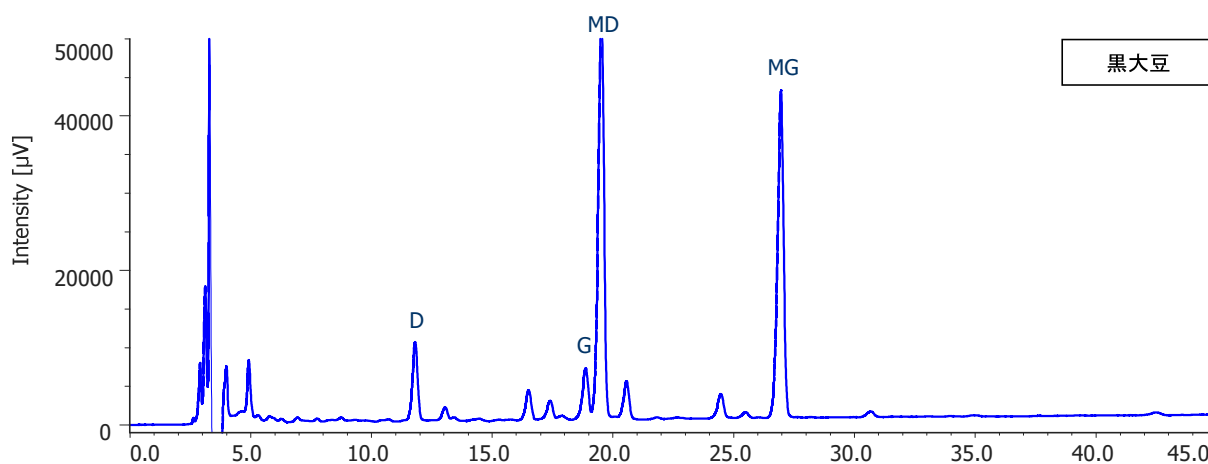
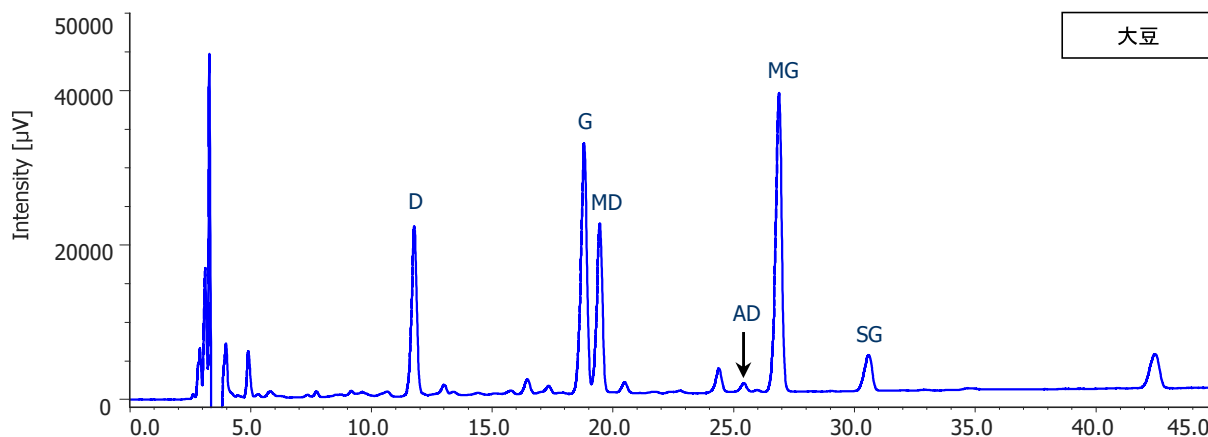
Time [min]	A (%)	B (%)
0.0	100	0
50.0	0	100
50.1	100	0

注入間隔 ; 65 min

<試料調製>

食安発第0823001号 別紙「食品中の大豆イソフラボンアグリコン（アグリコン当量）の試験方法」に準じ、70%エタノールで抽出した。





D : ダイジン, G : ゲニスチン, MD : マロニルダイジン, AD : アセチルダイジン, MG : マロニルゲニスチン,
 SG : サクシニルゲニスチン, AG : アセチルゲニスチン

Keyword : イソフラボン, PDA検出器, Symphonia C18, ダイジン, ゲニスチン, マロニルゲニスチン,
 アセチルゲニスチン, マロニルダイジン, アセチルダイジン, 豆類, 豆乳, 大豆, 黒大豆, 納豆, きな粉